



2017. 5. 20 (土)

## 第2回女性部定期大会



前回オブザーバー参加だった旧高教組の高校・養護学校からも代議員が参加し、いろいろな校種、職場の厳しい状況や思いが語られました。その中で昨年度の定期大会での発言を受け、改善された職場の報告もありました。多忙化が進む中の貴重な土曜日。参加するのも大変な状況ですが、貴重な職場交流の機会となり、私達の要求をより強いものにしました。



### 集まれば元気。語り合えば勇気。

最後は全国女性教職員学習交流集会のオープニングで披露する「琵琶湖就航の歌」を2部合唱しました。皆で初めて声を合わせたにも関わらず、その歌声の美しさ！に感動し大会を閉じました。

#### 議案1 2016年度女性部活動総括

- 全滋賀教組の結成により、全ての公立学校の女性組合員に依拠した女性部活動が始まりました。
- 女性部長会議は回数を減らし参加しやすいようにしました。
- 女性部アンケートを実施し、多忙化や権利行使の実態につて職場の声を集め、対県交渉で要求しました。
- サマーセミナー（オールインクルーシブ教育について）、平和ツアー（「最後の赤紙配達人」故西邑仁平さんのお宅・米原の機関車道を訪ねる）、新春のつどい（「校庭に東風ふいて」原作者柴垣文子さんの講演）を行いました。
- 各単組では多忙な中、状況に合わせた取り組みが行われました。

#### 議案2 2017年度活動方針

**基本方針** 子どもの生命と心が大切にされ、全ての教職員がいきいきと働き続けられる職場作りに力を合わせて取り組む。そのために女性教職員のさまざまな要求を出し合い、その実現に向けて創意ある活動を展開する。

- 出産見込み加配の要求
- 休暇制度の名称の変更と対象事項の拡大を求める
- 現状に見合う教員の定数配置の要求
- 平和と民主主義を守る
- 組合員を増やし様々な職種・立場の仲間との連携を深める

## 職場からの発言

### 執行委員 「全国女性教職員学習交流集会in滋賀」開催に向けて

10月7日（土）～8日（日）米原・彦根を中心に行われる大会の概要が説明されました。この大会が第5回実行委員会を兼ね今後5回実行委員会を経て大会を迎えます。記念講演、分科会、など準備に協力をお願いします。また、開会行事での合唱では大勢の歌声で参加者を迎えましょう。

### M小学校 「全国女性教職員学習交流集会」について

第1回大会は27年前に行われ、第2回大会が滋賀県で行われた。当時から滋賀の女性の意識は高い。未組・OGを連れての参加をお願いしたい。ノウハウや実践力になるような会ではないが、教育の土台となる考え方を交流する場にしたい。

### Y養護学校 妊娠軽減の改善を！

妊婦が小学部に5人重なった。学部内で軽減分をやりくりするのが難しい。妊娠を言えずに仕事をする人もいた。労働安全衛生と連携して改善していきたい。女性部から県へ1日4時間軽減を求めているが、滋障教では6時間軽減を要求している。統一して進めてほしい。

### G中学校 「ミサイル飛来」のプリント配布について

沖縄修学旅行と「ミサイル飛来」が重なり実施できるか心配したが、特に混乱なく終わることができた。沖縄では現地の体験を聞くなどの平和学習に取り組み、平和は努力によって保たれていることを学んだ。

### M小学校 職員も生徒も超多忙！

教師は毎日時間に追われている。担任のしていること（給食のワゴンを取りに行くなど）を地域のボランティア等で補えないか。子どもも慌ただしい。朝は8時過ぎから運動。昼休みは給食、掃除、勉強タイム。土曜日の参観日も「半日だから」と代休もない。教師は夏休みに取るように言われた。6月の奉仕作業で土曜の代休もない。定時退勤日があっても誰も帰れない。

### M小学校 新採2年目の先生が苦しい

初任研について。校内研修と授業研修は別と見なされていたが、同一としてカウントできるようになったのは良いのだが、指導教員が非常勤講師の時、その時間に勤務していないとカウントできない。また、新採2年目の先生は負担が急に増え、悩みを抱えたり、行き詰まっている人もいる。カバーしていきたいのだが…。

### K養護学校 育児時短制度に矛盾

育児時短 12:30～14:30 で体制上 40分間人がつかない空白の時間がある。分掌の配置が難しい。小学部は講師が見つからず2名欠員のまま1ヶ月以上この状態。免許の面でも難しい。

### Y養護学校 育児時短について

色々な時短の取り方がある。講師が1日単位でつく取り方を考えてみてはどうか。部分休業もある。希望があっても取りにくい状況。前年度に話をして学部の了解を得ておくことも大切。

## 麻生きよみ女性部長から・・まとめ

- ① 権利が使いにくい。例えば妊娠軽減、育児時短。アンケートを取り現状を把握して使いやすい権利になるように要求していきたい。
- ② 「ミサイル飛来」について。戦争と同じ状況だと思う。職場で話題にする雰囲気が必要。現状を的確に捉え伝える。単に不安を煽るのではなく、見えないものを想像できるイメージ力を子どもたちに付けるのが私たちの仕事。
- ③ 定期大会の発言を受け、育児時短の要求を4時間から6時間に変更していく。
- ④ アンケートをこれからの交渉に活かしていきたい。幅広い意見を集めたいので是非提出してほしい。

### 参加者の感想

情勢を知ることや職場の交流はやはり大切です。自分が職場でも様々なことを話題にしていきたいと思います。

特別支援の多人数加配、時数を増やすことと併せて出張も可能にしてもらえないと現実的ではないです。育児時短を取りやすく！！実効あるものにしていく。その通りだと思います。

「時短勤務制度」は職場の該当の人と話題にしていた。本人は「迷惑をかける」意識が強かった。そうではないことを組合員である私たちもアピールしていく必要があると思った。

代休なし土曜授業の話がありましたが、昨年度「10日以上」が今年度より「10日程度」となった。保護者アンケートでは賛成が多いそうですが当事者の生徒、教師の意見を聞いてほしいです。学力調査の採点の話。不要な採点とデータの打ち込み。もっと教委や学校長に徹底して伝えていただけたらと思います。

土曜授業、業間体育。ますます忙しくなる中で、反対を言うのは組合の者だけになってしまいました。ますます組合の存在が重要になっていると思います。

普段なかなか参加できないのですが、参加すると頑張ろうと元気をもらいます。色々な方のお話を聞いて長浜市の土曜授業のことを考えていました。昨年度はそのことで8月25日から2学期が始まりました。中学校は日曜日に部活が入ると休みが全くありません。なんとかしたいものです。

最後の琵琶湖周航歌とてもきれいでした。歌っていて気持ち良かったです。現場の厳しさや上からの押しつけ、使いたくても使えない制度。色々問題があるからこそ、もっと周りをつながっていかないとダメなんだと改めて感じました。情勢のことも知ることができて勉強になりました。

## 第27回全国女性教職員学習交流集会

### 滋賀大会のご案内

日時:平成29年10月7日(土)～8日(日)

場所:全体会 滋賀県立文化産業交流会会館(米原)

分科会 米原市公民館 彦根ビューホテル

### 記念講演

中部学院大学 別府悦子 先生

(滋賀の障がい児教育の歴史からインクルーシブ教育まで)

### 分科会①特別支援教育

②権利が使える職場づくり

③学校現場でLGBTの理解を進めるために

④護者と共につくる学級・学校づくり

⑤全国パパ・ママ大集合の会



7/1(土) 12:00～ G ネット

9/2(土) 13:00～桐原小

9/24(土) 13:00～桐原小

10/1(日) 10:00～桐原小

大会当日、「琵琶湖同航歌」の大合唱をします。

是非、大会で学びあいましょう。そして、一緒に歌いましょう。上記の日程で練習します。お越しください。

全国女性交流集会滋賀大会 実行委員長 麻生きよみ

お問い合わせ参加申込みは各女性部長さんか [077-526-4965](tel:077-526-4965) [全滋賀教職員組合](#)